

科目名称	地域文化論	学年学期	単位数	時間数
		1 年前期	1	15
担当教員	秋山 英治	授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	

【1】授業概要

地域医療に貢献できる人材となるために、地域の文化や風習・方言について理解し、地域の人々とよりよいコミュニケーションを取ることができるようになる。

【2】学習目標

1. 地域文化の特徴や課題について、わかりやすく説明することができる。
2. 地域の人々とよりよいコミュニケーションを取ることができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☒ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☐ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域文化をなぜ必要があるのか、その意義について学ぶ。	講義
2	愛媛の文化・風習にはどのような特徴があるのか、事例を通して学ぶ。	講義
3	愛媛に暮らす人とコミュニケーションをとる上で生じる問題を発見し、その問題に対する解決策・改善策についてグループワークをとおして考える。	講義・演習
4		
5	地域に暮らす外国人の実態について学ぶ(グループワークを行う場合もある)	講義
6	地域で暮らす外国人が抱える問題を発見し、その問題に対する解決策・改善策について、グループワークを通して考える。	講義・演習
7	今の地域社会のあり方についてグループワークを通して考える。	講義・演習
8	試験	

【5】評価方法

1. コメントシート 40%、机上レポート 60%

【6】教科書

指定なし

【7】参考書

・木藤たかお・清水史「きょうの伊予弁—伊予語学のために」2002 年青葉図書
・文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html

【8】受講生へのメッセージ

地域医療に貢献できる人材となるために、地域の文化や風習・方言について理解し、地域の人々とよりよいコミュニケーションを取ることができるよう学んでいきましょう。